

第 65 期定時株主総会 事前質問 主なご質問へのご回答

第 65 期定時株主総会の開催に先立ち、株主の皆さまから事前にいただいたご質問のうち、主なものについて、以下のとおりご回答申し上げます。

質問 1 東京ディズニーリゾートの今後のチケット戦略について

チケット戦略については、1デーパスポートの構成比を高めていくことを重視しております。一方、夏期間の夜間券の訴求など、期別の特性に応じたチケットの選択肢も設けております。価格幅や価格帯については、幅広いゲストに受け入れていただけるように柔軟に設定してまいります。また、従来と同じく、テーマパークの体験やゲストの需要動向、市場の価格感度、パーク内の運営状況などを総合的に考慮して、変動価格制の価格帯見直しを検討してまいります。検討にあたっては、上限価格、下限価格ともに見直しの対象としております。なお、現段階では、その他の新しいパスポートの導入や、年間パスポート、マルチデーパスポートの販売などの今後の方針は決まっておりませんが、さまざまな選択肢を幅広く検討してまいります。

質問 2 株主優待制度の拡充予定について

当社では、株主の皆さまに日頃のご支援の感謝とともに、パークをご見学いただき、当社事業に対するご理解を深めていただく趣旨から、株主用パスポートを提供させていただいており、概ねご好評をいただいております。また、現行の株主優待制度に追加して、長期保有株主様向け優待制度も導入しております。加えて、当社の創立 65 周年を記念した特別優待として、2025 年 9 月末時点で 100 株以上保有の株主の皆さまに株主用パスポート 1 枚を提供させていただきます。株主様からは、新規施設等をはじめとするパークのアトラクションへの優先入場やディズニーホテルの優先予約などのご要望を頂戴することもございますが、現在当社の株式を 50 万人以上の非常に多くの株主様に保有していただいている状況を考えると、他のゲストの皆さまへの影響が大きいことから、なかなか採用が難しいことをご理解いただければと思います。また、株主様の中には、利益向上による企業価値向上を求める声もあり、株主優待制度以外にも、配当をはじめとした株主様への利益還元などにより、トータルで株主の皆さまへ還元を行ってまいりたいと存じますので、ご理解いただきたいと思います。

質問 3 株主還元方針について

株主還元は経営の重要政策と認識しており、安定配当を継続しながら、2035 年までに 30% の水準の配当性向を目指してまいります。加えて、自己株式の取得についても、経営環境や事業戦略、資本政策等を総合的に判断し、状況に応じて適宜実施していく方針です。当社といたしましては、年度ごとの利益の増減をもとに株主還元を決定するという方針ではなく、安定的に配当し、中長期的に増配を目指すことで、株主の皆さまへの還元をしてまいりたいと考えております。

質問4 クルーズ事業の事業戦略と投資額の回収について

クルーズ事業については、2028年度の就航を目指し、造船やビジネススキームの構築を着実に進めており、年間乗客数は約40万人、年間売上高は約1,000億円を目指しております。また、売上高については精査中であり、営業利益率は就航から数年後には、20%台後半を目指しております。主たる固定資産である船舶の15年間の減価償却が終了すると、利益率がもう一段向上することも見込めるため、十分投資回収できるものと考えております。

質問5 商品の転売に対する対応について

転売に対する当社の対応としては、転売目的の購入を抑止し、より多くのゲストの皆さまに商品をご購入いただけるよう、事前に販売方法等を検討し実施しております。具体的な対応策としては、スタンバイパスの発券による入店制限やチケット認証の導入、購入個数制限の実施、特に高い需要のある商品は東京ディズニーリゾート ショッピングのみでの販売とする等、さまざまな対応策を組み合わせ、管理を行っております。今後も高い需要が見込まれる新商品の販売体制については、常に振り返りを行い、必要な改善を図りながら、新たな対応策についても検討してまいります。

質問6 パークにおける今後のアトラクション開発/エンターテイメントプログラムの方針について

東京ディズニーリゾートは、ゲストの皆さまにいつお越しいただいてもさまざまな魅力にあふれた場所でありたいと考えており、その大切な要素がアトラクションやエンターテイメント等と考えております。当社といたしましては、パークの内外環境やゲストの皆さまのニーズを踏まえ、それぞれのパークの全体戦略やテーマ性、ショーを実施する目的などを総合的に勘案しながら、魅力あるアトラクション、エンターテイメントプログラムを導入してまいります。

今後予定しているアトラクションやエンターテイメントプログラムについて、東京ディズニーランドでは、2026年度以降に『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクション、2027年にスペース・マウンテンと周辺エリアの一新を予定しております。東京ディズニーシーでは、2025年7月よりハンガーステージで「ドリームス・テイク・フライト」が、ドックサイドステージでは夏期限定プログラムとして「ドックサイド・スプラッシュ・リミックス」がスタートするほか、東京ディズニーシー25周年に先駆けて、2026年1月にはウォーターフロントパークで新たなステージショーの公演を計画しております。その他にも、ブロードウェイ・ミュージックシアターにおける「ビッグバンドビート」に代わる新たなショーなどさまざまなプログラムの検討も開始しており、計画がまとまり次第、順次皆さまにお知らせしてまいります。

引き続きゲストの皆さまが満足いただけるようなアトラクション、エンターテイメントを提供し、東京ディズニーリゾートで過ごす時間がより楽しい時間となるよう努めてまいります。

質問7 キャストへの教育方針とキャストのサービス向上について

さまざまな背景をお持ちのゲストの皆さまお一人おひとりの気持ちに寄り添い、キャストのサービスやパフォーマンスの質を高く維持するため、研修プログラムの改善や管理者による育成方法の見直し等、さまざまな取り組みを実施しております。

現在は、ゲストの皆さまにディズニーテーマパークの世界観をより楽しんでいただくことを目的として、キャストがテーマをより深く理解し、ストーリーの一部となって自分らしく役割を演じるための取り組みを東京ディズニーランドの美女と野獣をテーマにしたエリアからスタートし、現在は東京ディズニーシーのファンタジースプリングスを中心に実施しており、両パーク全体に展開しております。

キャストのサービスや対応に対して、ゲストの皆さまから頂戴いたしましたコメントやご意見を踏まえ、今後もキャスト教育の在り方を検討してまいります。

以上